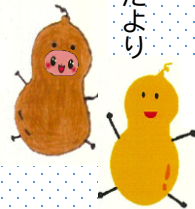


かわら版

集落支援員だより



「めざせ！生涯現役」シリーズ①

くよくよしないことが健康の秘訣。理容所のお客さんと色々話をするのが毎日の楽しみです！

岩代地域で仕事や趣味、ボランティア等に携わり、元気に暮らしている高齢の方を紹介する新シリーズ。第一回は、西新殿で長谷川理容所を営んでいる長谷川貞夫さんを紹介します。



長谷川貞夫さん
プロフィール
昭和10年4月9日
生まれ。88歳。
血液型A型。
「長谷川さんの話はいつ聞いても面白い！」と定評があります。今回の登場もお客様の推薦によるものです。

◆新殿との関わり等について

東京で生まれ育った私は、九歳のときに学童疎開で新殿にやってきました。翌年五月には家族も移住し、そのまま新殿で十代の大半を過ごしました。高校卒業後に、「都会へ戻りたい」という思いもあり、上京を決意。親戚に床屋さんが多かった影響から、都立の理容学校へ入学しました。

在学中に、水上生活者の子どもたちが住む寮や少年鑑別所を訪れて髪をカットする実習も体験しました。卒業後は中野刑務所に通い、出所する人に理容技術を身に付けてもらう指導も行いました。

二十代後半の頃、親の面倒を見るために新殿に戻り、以来、この地で理容所を営んできて六十年以上が過ぎ去りました。

◆暮らしの中の楽しみについて

現在は家業を継いでくれた次女とふたりで理容所を切り盛りしています。内孫、外孫、ひ孫にも恵まれ、たまにひ孫の髪をカットしたりするのも楽しみです。

中学時代

の同級生が杉沢、初森、東新殿など各地区にいて定期



▲ひ孫さんと一緒に

Q&A形式で 長谷川さんの人となりを紹介！

長谷川さんへのインタビューは、ユーモラスな人柄が伝わる楽しいものでした。その内容を紹介します。

Q.人生で一番〇〇だったことは？

→東京で理容師をしていた20代の頃、練馬少年鑑別所への出張の帰り道、雨が降ってきたので鉄格子の付いた車で池袋駅まで送ってもらいました。人通りの多い場所で車から降りたときは人生で一番恥ずかしかったです（笑）。

Q.岩代の好きな風景は？

→北の堰から念仏滝・不動滝あたりまで。子どもの頃、川遊びをして歩いていったコースですが、今も懐かしく思い出されます。発電所の上の方に、穴が開いた大きな岩がいくつかあって、みんな入って遊んだのも楽しかったです。

Q.座右の銘は？

→「人事を尽くして天命を待つ」

Q.好きな食べ物は？

→魚のお刺身です！

Q.自分の人生を漢字1~4文字で表すとしたら？

→「忍」です。子どもの頃から「欲がりません。勝つまでは」という言葉を耳にし、人生は耐え忍ぶものだと感じています。



▲子どもの頃、みんながよく川遊びをしたことが思い出。北の堰から、念仏橋、不動滝あたりまで川の中を歩いて遊びました。

的に店に来てくれるのでありがたいです。コロナ前は毎年同級会もしていました。来店してくれる人と楽しく会話をすることでも安否確認にもなり、情報交換もできるので嬉しいですね。毎日、お客さんとおしゃべりすることが生きがいになっています。



▲散髪と顔剃り後、さっぱりしたお客様の様子を見ると嬉しいそう

◆健康法について

高血圧や不整脈を発症した時期もありましたが、八十歳を過ぎた頃から回復し、「病は気の持ちよう」とますます実感。糖尿病の心配もありお医者さんには焼酎を勧め

「めざせ！生涯現役」 シリーズに登場して下さる 岩代の方を募集中！

- 年齢：75歳以上
- 仕事や趣味、ボランティア、特技など何かしらの活動しながら、生き生きと楽しんで暮らしている人
- 自薦・他薦を問いません！

問合せ：☎65-2777 岩代支所
集落支援員までご連絡下さい

められますが、日本酒が大好きで、二合程度晩酌するのが習慣です。先日、テレビで百六歳の現役の人が取り上げられているのを見て、「自分もまだまだ大丈夫」と思い、励まされましたね（笑）。

■長谷川理容所 ☎五七・二六〇三

サロン
訪問記

「田沢わかばサロン」と呼び合い、笑顔が印象的でした!

集落支援員が岩代各地区にあるサロンを訪れ、活動の様子や参加者の声を紹介します。



◆田沢わかばサロン◆会員数：20人。うち70代6人、80代7人、90代7人。この日は準会員として百目木から女性3人が特別参加。毎週水曜日は同じメンバーで百歳体操も行っています。

～♡ホワイトデーの贈り物に♡～
ヘルシー&美味しい 豆腐のティラミス

岩代公民館主催「発酵スイーツ教室」で好評だった豆腐ティラミスのレシピを紹介します。

- ◆材料(2食分)◆
- ①木綿豆腐 80g
 - ②クリームチーズ 80g
 - ③砂糖3g(小さじ1)
 - ④レモン果汁 6滴
 - ⑤パウンドケーキ 1/2カット(100g)
 - ⑥インスタントコーヒー 小さじ1
 - ⑦砂糖 小さじ2強
 - ⑧水 大さじ2
 - ⑨ココアパウダー 適量



▲材料を揃えた後は、包丁を使わずにお手軽にさっとつくれるのが魅力です。豆腐とクリームチーズの濃厚で爽やかなハーモニーが◎

- ◆作り方◆
1. クリームチーズをレンジで20秒加熱し、柔らかくなったチーズと豆腐、砂糖、レモン果汁を透明なポリ袋に入れてもみこむ。
 2. パウンドケーキをちぎり、⑥⑦⑧を合わせたコーヒー液に浸す。
 3. 2をさらに小さくちぎって透明カップ2個それぞれ3分の1の高さまで入れる。
 4. 1のビニール袋の端を切り、3分の1量を2つのカップに絞って流し込む。
 5. 3と4を交互に繰り返す。
 6. 最後にココアパウダーを振りかけて完成!

◇講師◇渡邊史子さん



お好みでドライフルーツなどのトッピングをするのも可愛いです。自由にアレンジして下さい!

★プロフィール★
岩手県出身。主に関東を中心に栄養士として勤務し、令和2年に東和地域に移住。現在はパートナーと農業をしながら栄養士やナチュラルフードコーディネーターなどの食の資格を活かし、お料理教室の講師等も務めています。

田沢わかばサロンは、毎週金曜日の午前九時頃から二時間程度開催されます。主に冬は田沢集会所で、春以降は旧田沢小学校の校庭でグラウンドゴルフをしています。二月二日の訪問日は、十五人が参加。最初は輪になって自由におしゃべりをするのが恒例で、安否確認や情報交換にもなっているのので貴重な時間だそう。その後、輪投げゲーム大会を開催。二チームに分かれ、一人九本の輪を投げていきスコアを記録。一人数は投げた回数に汗をかいて運動になった。皆さちゃん笑顔」と呼び合っています。



▲輪になって談話タイム

田沢わかばサロンの皆さんの趣味や活動内容は?

この日参加したサロンの皆さんに趣味や特技、活動等について聞いたところ、様々な回答があり、多彩な才能の集団であることに驚きました!

- ◆畑仕事◆韓ドラ◆陶芸◆竹細工◆バイオリン演奏◆編み物◆ミツバチの箱作り◆ふれあい弁当づくりボランティア◆除雪ボランティア ほか

合っているのが印象的。毎週、サロンに来てみるとみんな楽しんでいるのがとても嬉しかったです。



▲輪投げ大会で適度に汗をかきました

岩代の歴史シリーズ
両属の将 石川弾正の生涯 ⑩

石川弾正顕彰会事務局長 日下部善己

いしかわだんじょうけんしょうかい
十 石川氏の新たな世界
塩松石川氏最後の領主弾正光昌の關係者は、一時百目木姓を名乗ったとも伝わるが、子孫には新たな世界が展開する。
弾正の長男信昌は、江戸初期に相馬藩に仕え五〇〇石を給されて石川内匠と称し、後に十太夫と改める。二男有尚は、同じく相馬藩に仕え一〇〇石を給され、石川専右衛門(後代は嘉兵衛)と称する。ここに相馬石川氏が成立する。
信昌の長男、即ち弾正孫の三昌は父の五〇〇石の内、三〇〇石を給され、石川内匠、後十太夫と改める。二男直昌は父信昌の五〇〇石の内、二〇〇石を分与され石川助左衛門と称する。この直昌は後に藩家老に任じられ一時は禄高が六〇〇石にも及ぶ。子孫も歴代家老職に就き相馬藩政を担った。
相馬石川氏は明治初期に領内に土着した。十太夫新郎(五〇石)、嘉平(一五〇石)、助左衛門雅蔵(四〇〇石)等で、嘉平の子孫は金房村(現南相馬市)村長に就く。なお、弾正の三男勘十郎某と四男光定は江戸期、共に伊達氏に仕えたという。仙台石川氏である。両属の将石川弾正光昌は、結果として相馬・伊達両藩に子どもたちを仕官させ、その後の家門を繁栄に導いた。